

Oracle9i Discoverer Desktop

リリース・ノート

リリース 9.0.2

2002 年 11 月

部品番号 : J06503-01

目次

認証およびシステム要件	2
Discoverer EUL のバージョン	2
Discoverer 3.1 からの移行	2
既知の制限事項と対応策	2
Oracle9i Discoverer Desktop スタンドアロン CD	2
Oracle9i Reports Services テンプレートのエクスポート	2
ファン・トラップ機能に影響するレジストリ設定	2
識別子で非サポートになる文字	3
Desktop のエクスポート時に、選択メニューに Oracle Reports がない	3
ドキュメントの正誤情報	3
インストール・ディレクトリ	3
実行可能ファイル名	3

このドキュメントは、Oracle9i Discoverer Desktop とそのマニュアルに記載された機能との相違点についてまとめたものです。

関連項目：『Oracle9i Developer Suite リリース・ノート』

ORACLE[®]

Oracle と Oracle のロゴは Oracle Corporation の登録商標です。Oracle9i は、Oracle Corporation の商標です。記載されているその他の製品名および社名はその製品および会社を識別する目的にのみ使用されており、それぞれ該当する所有者の商標です。

Copyright © 2002 Oracle Corporation.
All Rights Reserved.

認証およびシステム要件

認証およびシステム要件の詳細は、『Oracle9i Developer Suite for Windows and UNIX インストール・ガイドリリース 2 (9.0.2)』またはホームページのシステム要件を参照してください。

Discoverer EUL のバージョン

今回のリリースの Oracle9i Discoverer Desktop では、Oracle9i Discoverer Administrator 9.0.2 (Oracle9i Developer Suite リリース 2.0 のコンポーネント) で作成したバージョン 5 のエンド・ユーザー・レイヤーが必要です。

Discoverer 3.1 からの移行

Discoverer 4.1 以前のリリース (3.1 など) から移行する手順は、次のとおりです。

1. Oracle Discoverer Administration Edition 4.1 を使用して、3.1 EUL から 4.1 EUL に移行します。
2. Oracle9i Discoverer Administrator 9.0.2 を使用して、4.1 EUL から 5.1 EUL に移行します。

Oracle Discoverer Administration Edition 4.1 をお持ちでない場合は、オラクル社のカスタマ・サポート・センターから入手できます。

(注意: Oracle9i Discoverer Administrator の旧名は、Oracle Discoverer Administration Edition です)

既知の制限事項と対応策

Oracle9i Discoverer Desktop スタンドアロン CD

Oracle9i Discoverer Desktop を、Oracle9i Discoverer Suite に同梱のスタンドアロン CD からインストールする場合、Discoverer Desktop をインストールするマシンに、正しい Windows システム・ファイルがインストールされている必要があります。通常、Discoverer Desktop のインストール・プロセスでは、これらのファイルが自動的にインストールされます。しかし、システムによっては、インストールが正常に完了せず、Windows システム・ファイル (または、具体的に MSVCRT.DLL) をインストールする必要があるというメッセージが表示される場合があります。このメッセージが表示された場合は、次の操作を行います。

1. Discoverer Desktop のインストール・プロセスを終了します。
2. wsf.exe ファイル (Discoverer Desktop スタンドアロン CD の最上位のディレクトリにある) を実行して、Windows システム・ファイルをインストールします。
3. Windows システム・ファイルがインストールされたら、マシンを再起動します。
4. Discoverer Desktop のインストール・プロセスを開始します。

Oracle9i Reports Services テンプレートのエクスポート

Oracle9i Reports 機能のエクスポートに使用するテンプレートは、次のディレクトリに格納されています。

<Oracle Home>\%discoverer902\reports

ファン・トラップ機能に影響するレジストリ設定

『Oracle9i Discoverer Administrator 管理ガイド』の第 10 章に、ファン・トラップの使用例に関する説明が記載されています。また、第 22 章には、Discoverer の動作に影響するレジストリ設定の詳細が記載されています。これらの情報のほか、次のレジストリ・キーや、Discoverer によるファン・トラップの処理方法に及ぼす影響にも注意してください。

- DisableFanTrapResolution (0= 無効 [デフォルト], 1= 有効)

このレジストリ・キーを「1」に設定すると、ファン・トラップのあらゆる使用状況において、デカルト積を含む SQL が生成されます。この設定は、実際にデカルト積を使用する場合にのみ使用してください。

- DisableFanTrapDetection (0= 無効 [デフォルト], 1= 有効)

このレジストリ設定は、Discoverer のユーザー・インタフェースでも変更できます。Discoverer Plus でユーザー設定項目にアクセスするには、「ツール」⇒「オプション」⇒「詳細」⇒「ファン・トラップ検出を使用しない」を選択します。Discoverer Viewer では、「ファン・トラップ検出を使用しない」を選択してください。

ユーザー設定項目が無効である場合（デフォルト設定）、解決可能なすべてのファン・トラップは正しい結果セットになります。解決不能なファン・トラップにはエラー・メッセージが表示され、問合せは実行されません。

ユーザー設定項目が有効である場合、ファン・トラップは正しく解決されますが、解決不能な組合せがある場合は問合せが実行され、警告も表示されません。結果は、デカルト積になります。

次の表は、これら 2 つのレジストリ設定の組み合わせに対する Discoverer の動作を示します。

使用例 1: Discoverer で解決可能なファン・トラップ

DisableFanTrapResolution	DisableFanTrapDetection	結果
0	0	正しい結果
0	1	正しい結果
1	0	デカルト積
1	1	デカルト積

使用例 2: Discoverer で解決不能なファン・トラップ

DisableFanTrapResolution	DisableFanTrapDetection	結果
0	0	問合せは実行されず、警告が表示される。
0	1	デカルト積
1	0	デカルト積
1	1	デカルト積

識別子で非サポートになる文字

Discoverer では、識別子を使用することにより、異なるエンド・ユーザー・レイヤー（EUL）間で EUL のオブジェクトを一貫して参照できます。この機能は、開発 EUL で加えた変更内容で本番 EUL を更新する際に非常に便利です。EUL オブジェクトの識別子プロパティは、「プロパティ」ダイアログからアクセスできます。

Discoverer の将来のリリースでは、識別子で使用できる有効な文字が変更されます。今回のリリースでは、非サポートになる文字を含む識別子を作成しようとすると警告が表示されます。また、Discoverer Administrator を使用して非サポート文字を含む識別子を格納した .eex ファイルをインポートすると、インポート・ログに警告が表示されます。Discoverer の将来のリリースでの使用に備え、非サポートの文字を使用している識別子を変更してください。

Discoverer の将来のリリースでは、次の文字が識別子で非サポートになります。

!~*()'-

識別子で使用できる文字は、次のとおりです。

A..Z, a..z, 0..9, _

Desktop のエクスポート時に、選択メニューに Oracle Reports がない

このバージョンでは、エクスポート時、ファイル形式として、Oracle Reports Services を選択することができません。

ドキュメントの正誤情報

インストール・ディレクトリ

『Oracle9i Discoverer Desktop ユーザーズ・ガイド』内のすべての ¥discv902 は、正しくは ¥discoverer902 です。

実行可能ファイル名

『Oracle9i Discoverer Desktop ユーザーズ・ガイド』内のすべての dis5usr.exe は、正しくは dis51usr.exe です。

